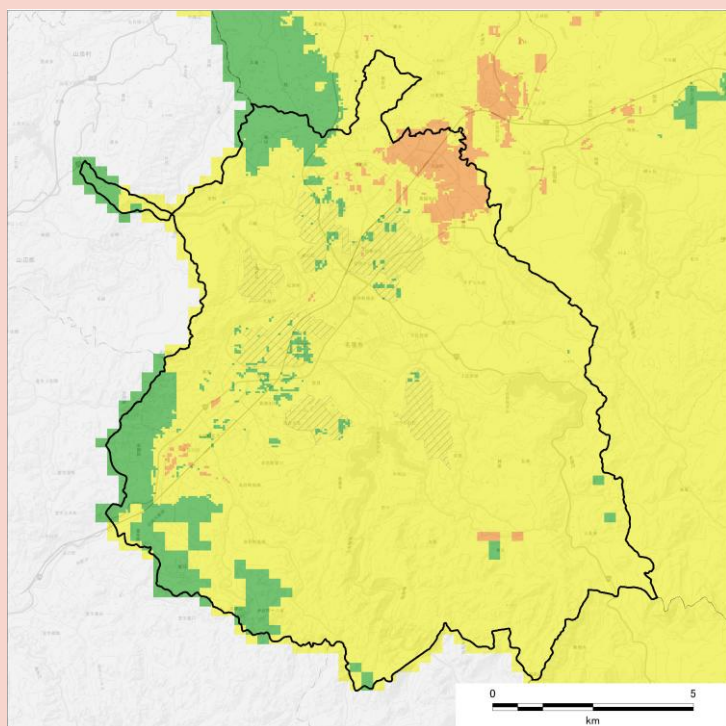


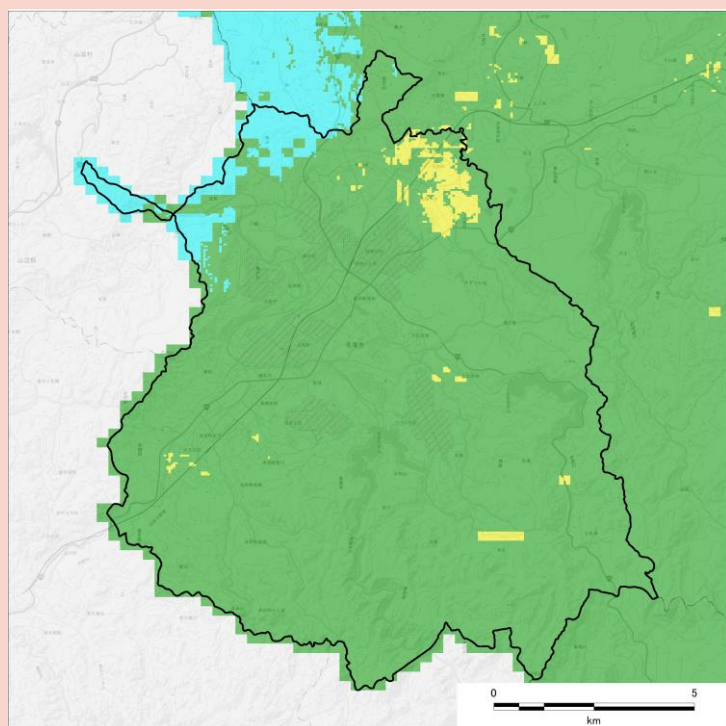
### 1. ハザード評価

#### (1) 地震動

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3以下

<震度別面積割合>

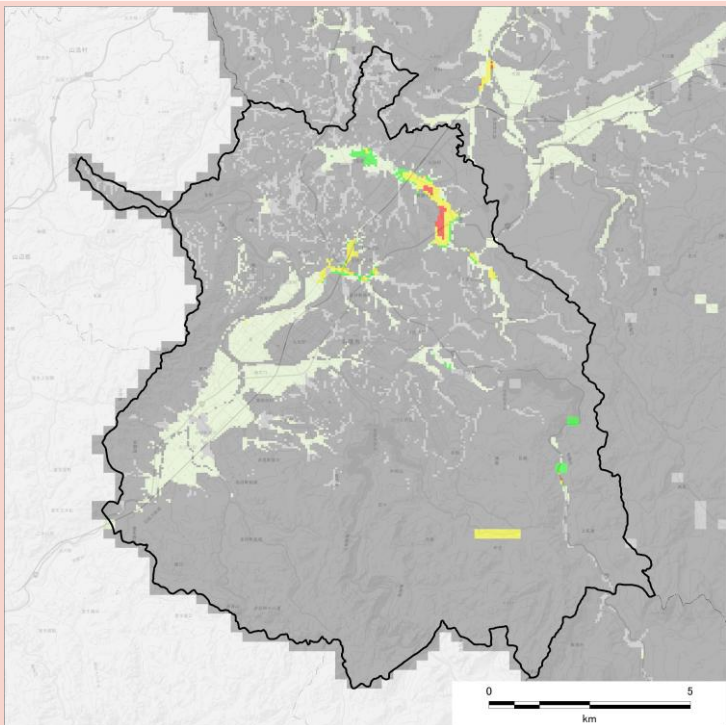
(参考) 総面積 = 129.8km<sup>2</sup>

震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
7	0.0	0%	0.0	0%
6強	4.0	3%	0.0	0%
6弱	113.4	87%	2.9	2%
5強	12.4	10%	122.1	94%
5弱	0.0	0%	4.8	4%

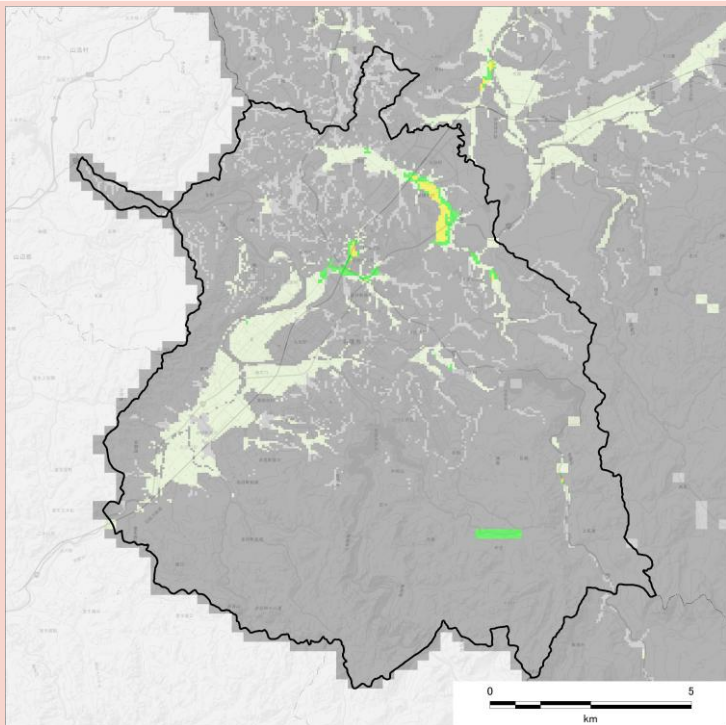
※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

#### (2) 液状化

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



液状化危険度

- 極めて高い
- 高い
- 低い
- 極めて低い
- 計算対象層なし
- 計算対象外

<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 129.8km<sup>2</sup>

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
極めて高い	0.2	1%未満	0.0	0%
高い	1.1	1%未満	0.4	1%未満
低い	0.5	1%未満	1.0	1%未満
極めて低い	10.0	8%	10.4	8%
計算対象層なし 計算対象外	118.0	91%	118.0	91%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

### 2. リスク評価

#### (1) 人的被害

※季節・時間帯：冬・深夜

#### (2) 建物被害

※季節・時間帯：冬・夕方

#### (3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1	定量評価項目	L2	L1	定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約20	約10	全壊・焼失棟数（棟）	約500	約100	炎上出火件数（件）	-	-
うち建物倒壊等	約20	-	うち揺れ	約400	約30	残火災件数（件）	-	-
うち津波	-	-	うち液状化	-	-	津波火災発生件数（件）	-	-
うち急傾斜地崩壊等	-	約10	うち津波	-	-			
うち火災	-	-	うち急傾斜地	約40	約90			
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-	うち火災	-	-			
重傷者数（人）	約50	-	半壊棟数（棟）	約2,300	約500			
軽傷者数（人）	約400	約70	うち揺れ	約2,200	約300			
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約100	約10	うち液状化	-	-			
津波被害による 要救助者数（人）	-	-	うち津波	-	-			
津波被害による 要搜索者数（人）	-	-	うち急傾斜地	約80	約200			
			ブロック塀等の 転倒数（件）	約200	-			
			自動販売機の 転倒数（件）	約30	-			
			屋外落下物の 発生数（件）	約10	-			

**概観（理論上最大クラス）**  
**【ハザード評価】**  
 県内の沿岸市町と比べて地震動は大きくないものの、広い範囲で震度6弱以上となります。  
**【リスク評価】**  
 揺れによる建物の全壊が発生し、古い家屋を中心には建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。急傾斜地崩壊によって建物被害も発生します。

※「-」：わずか（5未満）  
 ※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。